

研修報告書

令和6年1月22日

長浜市議会議員

様

長浜市議会議員

岩川 信子

私が出席した次の研修の結果について報告します。

記

1. 研修名 第18回全国市議会議員会研究フォーラム
2. 研修日時 令和5年10月25日(水)～26日(木)
3. 研修場所 西日本総合展示場新館
4. 研修テーマ 統一地方選挙の検証と地方議会の課題
5. 講師 基調講演・片山 善博氏

6. 調査内容感想等

・研修の目的

全国市議会議員会に参加することにより議員同士の一層の連携を深め、また、地方議会は議員の性別年齢構想の偏りや、なり手不足の深刻化、議会への関心の低下などの厳しい課題のなか、統一地方選挙の結果などを徹底に検証しながら、今後の地方議会の課題を整理し解決に向けた今後の展望を導き出す。

・研修の内容

1 基調講演 「躍動的でワクワクする市議会に」をテーマに、大正大学教授兼地域構想研究所長の片山 善博氏より、日本の地方議会に欠けている事は何か、議会の常識と市民の意識そして、今を振りかえって議会に感謝されていることなどの講演をされました。

また、講演の中でキーワードとなるもの「議案や予算案の修正はある」「真剣な議論がない。議案が通るかどうかの緊張感が必要」「税の議論がない」「住民の声が聞こえない、議会で結論が変わらなければ市民は議会に関心を持たない」「市長提案の議案を鵜呑みにしない」などでした。

2. パネルディスカッション

コーディネーター 谷 隆徳氏：日本経済新聞編集委員

パネリスト ①勢一 智子氏：西南学院大学法学部教授

②辻 陽氏：近畿大学法学部教授

③濱田 真理氏：Stand by Woman 代表

女性議員のハラスメント相談共同代表

④田仲 常郎氏：北九州市議会議長

「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」をテーマに谷氏をコーディネーターとし4名のパネラーを招いてパネルディスカッションが行われた。

・研修の結果を本市議会にどのように反映させるか

基調講演では、片山氏から鳥取県知事時代の経験を踏まえて、地方議会のあり方について様々な角度からの指摘をされ、長浜市議会では、市長提案の議案や予算の審査における修正など私が議員になってからはないため、今後重要な課題を目前に抱える長浜市議会として、修正や否決といったことなど緊張感をもって、将来的に財政が厳しくなった場合そういった取り組みは必要かと思います。

また、片山氏が鳥取県の知事時代に男女共同参画の行政部門においてトップだったと自負されておられました。私達長浜市も男女共同参画の推進を広め、男性育児休業の取得や女性管理職の増加にもより一層努め取り組んで行くべきと感じています。

パネルディスカッションでは、特に濱田氏からは、具体的に相談を受けている議員のハラスメントについての発言がありました。長浜市議会としても、ハラスメント対応マニュアルを作成しハラスメント対策委員を構成している。議員として倫理感を持ってハラスメント事案が起こらないように今後もハラスメント研修へも努めて行きたく感じました。

